



佐川おもちゃ美術館 ネイチャーゲーム 実践報告

高知県シェアリングネイチャー協会

坂本 富子

(佐川おもちゃ美術館・おもちゃ学芸員)

建物と周りの環境

「まきのさんの道の駅・佐川」の隣に併設された建物の裏手には、植栽のある遊歩道建物横には、ビオトープがあります。



遊歩道



ビオトープ周辺

中庭は木のチップが敷き詰められ、天然木の丸太が置いてあります。



2024年11月17日 10:45～ 14:00～
ネイチャーゲーム体験「身近な秋を感じよう」 参加者親子10組

- ・ノーズ（手作り版）
- ・フィールドbingo
- ・落ち葉のステンドグラス



見えてきたこと

- 午前中、午後と開催すると待ち時間が長く、拘束される時間が長くなる。
(メンバー4人のうち二人は保育士で、子育て中)
- 何か持ち帰るものがあると、集客しやすい。
- スタッフはリーダー3人と学芸員の1人なので、役割分担をしつかりしておく。
- 時間の制約があるので、時間に収まる内容、プログラムを練っていく。
- 「体験シール」は、子どもが喜んで貼っているので続けていきたい。
- (体験シールのカードには、知ってほしい情報が分かりやすく書かれている。)

2025年1月26日 10:45～
ネイチャーゲーム体験「身近な自然に気づこう」 参加者親子10組

- ・このゆびとまれ（グーチヨキパー編）
- ・カモフラージュ
- ・クラフト 牛乳パック万華鏡



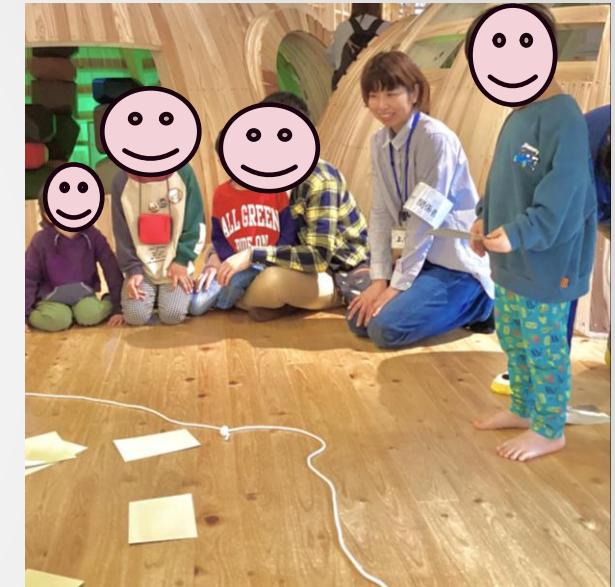
見えてきたこと

- 戸外からクラフトのコーナーまでの移動時間があるので、誘導しながら移動を促す。
- クラフトの仕上がりに個人差があるので、クラフトの前に「今日の振り返り」を行っていく。
- 前回今回、インストラクターが指導してきたが、雰囲気にも慣れてきているので少しずつリーダーの役割を増やしていく。

2025年3月2日 10:45 ~

ネイチャーゲーム体験「いきものとなかよくなろう」 参加者親子10組

- ・ノーズ
- ・動物ヒントリレー（パズル編）
- ・クラフト 和紙のお雛様



見えてきたこと

- 雨天となり、館内のコーナーを用意してもらい行ったところ、歓声や笑い声が館内に響き、他の入館者も覗いていた。終了後、「楽しそうな声が聞こえましたね」と学芸員さんから声を掛けてもらう、「今度、一緒にやってみませんか」と声を掛けると「やってみたいです」と返事をいただいた。
- 学芸員対象に、入門講座をやってみたいと思った。
- 前回より、ミーティングの時は、アクティビティハンドブックを持参し、やってみたいアクティビティを出し合うようになると、リーダーさんから、アクティビティについての質問が出るようになった。
- 今回から地域の会の4名が活動することになり、活気が出てきた。
- クラフトの提案がリーダーさんから出るようになり、積極的に準備を受け持ってくれるようになってきた。

2025年5月18日 10:45 ~

ネイチャーゲーム体験「身近な自然に触れよう」 参加者親子10組

- ・わらべ歌遊び（たけのこ）
- ・しぜんのだいすきだいじさがし
- ・クラフト 竹ぼっくり



見えてきたこと

- わらべ歌、「自然のだいすきだいじさがし」とも、リーダーが受け持ち、生き生きと活動していた。
- この時期、暑さが強く戸外での活動には無理があると感じた。
- 竹ぼっくりの竹は、おもちゃ美術館のスタッフが協力してくれ、スムーズに準備できた。自分たちだけで進めるのではなく、得意分野を持っているおもちゃ美術館のスタッフともコミュニケーションを持ちながら協力いただくことも良いなど感じた。(お客さん気分でなくおもちゃ美術館のスタッフ同士としても)リーダーから、学芸員資格を取りたいとの声がでた。
- 指導機会も増えているので、アクティビティ実施だけでなく、チラシを使ってシェアリングネイチャーについて話し合った。

2025年7月5日 10:45 ~

ネイチャーゲーム体験「いろんなかたちみつけよう」 参加者親子10組

- ・ノーズ
- ・フィールドパターン
- ・クラフト 篠かざり



見えてきたこと

- 「入門講座」を行うには具体的に、「いつ」(500名入館することもある夏休みは避ける)「何曜日」(火曜日、木曜日)何時ごろ(午後の2時間程度)と館長に聞き、今秋に実施する旨を伝えた。
- 9月5日以降次回11月は暖かくなる午後の時間が良いのでは?と提案あり、美術館の毎日を知っているスタッフの情報は助かる。
- ミーティング時に、美術館のスタッフが参加してくれることで、できる事、難しい事、情報がすぐにわかる。
- 次回は、「私は誰でしょう」をやりたいとリーダーが初めてのアクティビティ実施にチャレンジすることになった。
- 指導員手帳に記録をするよう伝え、後々の振り返りに役立つことを伝えた。

これから

- 2ヶ月に1回の「例会」として定着していく。
- ネイチャーゲームもクラフトも新しい事にチャレンジできるようにモチベーションを上げていきたい。（県協会へ声をかけ、講師として来てもらいスキルアップや情報収集していく）
- 自然豊かな佐川町の美術館だが、館の周りは人工物が多いので、できることを模索していく。
- 「入門講座」をする。

最後まで聴いてください
ありがとうございました。